

COMMUNICATION 2007 No. 4

KOKUSAIKA ・ EIGOKA ・ KOKUSAIKYOYOKA newsletter

Special Lessons 'Debate' 'Listening' 'Cross-Cultural Understanding'
Congratulations! French 'Concours Vidéo' Farewell Message from Caleb
Notices 予告 the 2nd Year 'Kokusaika' Seminar -- Debate Tournament

A Happy New Year! 3年生の登校日もあとわずかとなりました。もうすでに進路の決まった人達おめでとう。これから試験を控えている人達、これからが勝負、最後の最後まで「あきらめない」「あせらない」で、できることを1つ1つこなしていけば、それはきっと実になっています。健康管理に気をつけて頑張ってください。Good Luck! 1, 2年生にもあつという間にこういう時期が来ます。自分の進路について、今できることやしなければならぬことについて真剣に考えよう。

話は変わりますが、最近「おっ！ちゃんと勉強してるんだな」と思わせる質問を受けることが多く嬉しいです。紙面の関係で1例しか挙げられませんが……

1年生のスキットメモライゼーション「よりぬき英会話」 歯痛の話:

'Why don't you have it pulled? (抜いてもらったら?)' はなぜ原形の pull ではなくて pulled を使うんですか? スキットをただ丸暗記して合格すればいいという勉強の仕方ではなく、内容をきちんと考えながら練習しているからこそこの質問です。しかも、「使役動詞 have + 目的語(人) + 動詞の原形」で「人に～してもらう」だとわかっていないと質問できません。

まだ習っていなかった「使役動詞 have + 目的語(物) + 動詞の過去分詞」で「物を～してもらう」という表現を、新たに学ぶことにつながりました。

同じ暗記でも、CDを何度も聞いたり、意味をよく考えながら覚えるとちゃんと実になりますよね。

Special Lessons

<異文化理解> 11/7 恵泉女学園大学 辻村 聖子 先生「異文化理解について」 対象:「比較文化」受講者
*残念ながら私自身はお話を伺っていないので、生徒の皆さんのレポート・感想をもとに内容を紹介します。

皆さんが英語を学んでいるのはなぜ? 確かに英語は今や世界の共通語とも言うべきものになりつつあるけれど、英語が広く使われる背景には植民地問題や国の力(軍事・経済等)があることも考える必要があります。日本は今豊かだけれど、例えば私達が気軽に使い捨てている「割り箸」を作るためにどこの国の木を切っているか知っていますか? 日常の何気ないことでも当たり前と思わずに、他の国の人達の視点で見直してみてもどうでしょう。辻村先生が「学校を贈る」支援をしていらっしやるカンボジアは50年前までは豊かな農村の広がる平和な国だったのに、ベトナム戦争時のポルポト政権による支配をへて30年間で、国は荒廃し、民衆は裸足で歩き、識字率も低く、学校や水道などの整備も不足しているそうです。日本の今の豊かさも、過去に色々な国から助けられ、また今も色々な国に支えられて成り立っています。支え合うためにできることを考えていきたい。辻村先生からのメッセージ「感動したこと、気になること、まず行動を起こそう!」「戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和の砦を築かなければならない(ユネスコ憲章)」

最後にこのユネスコ憲章（左頁）の言葉についての生徒の感想から

こんな事をいちいち採択しなければならぬのは変です。私は戦争をしたいと思わないし、色々な人と仲良くしたい。戦争は自分たちにとって異常なものを排除しようとする動きだけれど、人が違う宗教を信じようと文化が違おうと人それぞれなのだからそれが当たり前です。むしろ私は違う文化や人々をもっと知りたいと思います。

<ディベート特別授業> 12/11 神田外語大教授 青沼 智先生 + 神田外語大学生 4名

「日本は死刑を廃止すべきである (Japan should abolish the death penalty.)」 対象: 国際科2年生



大学生のディベートを解説する青沼先生



高校生のディベート

高校生

<肯定側>

京増・河内

高品・宮川

矢内 さん

<否定側>

大石・篠崎

西田・橋爪

向原 さん

大学生のディベート

立論5分(死刑廃止のメリット又はデメリット2個)・質疑2分・反駁3分×1回・まとめ2分

- 肯定側 死刑は人間の尊厳を蹂躪している 廃止により無実の人を処刑する危険性を回避できる
- 否定側 死刑は犯罪を抑止する 死刑は再犯防止につながる

高校生のディベート

立論3分(メリット又はデメリット2,3個)・質疑2分・反駁2分×2回・まとめ1.5分

- 肯定側 無実の人を処刑する危険性回避 死刑に抑止力はない 終身刑の方が効果的
- 否定側 死刑は犯罪を抑止する 死刑は政府が国民の安全な生活の権利を守るために必要
終身刑は費用がかさむ

* 当日のメンバーで準備したのは立論のスピーチ作成も含めて、試合前1時間だけという厳しいスケジュールでしたがとてもよくできていました。試合に参加してくれた人達ありがとう。

アンケートより

ディベートの内容を教員の解説無しでも理解できたと思うか

	無しでも	ほぼできた	まあできた	あまりできなかった
大学生のディベート		6%	29%	65%
高校生のディベート		18%	42%	40%

ディベートの内容の理解度と関連のある次の項目の内、自分が苦労したのはどれか(複数回答可)

- 英語の音の聞き取り 28%
- 死刑制度に関連する単語・表現の知識 93%
- 死刑制度に関する知識 38%
- スピーカーの発音の癖や聞き取りやすさ 28%

「語彙が身につけていないと聞いていても理解ができない」という問題をほとんどの人が感じています。

特に「SEL A(ディベート)」の授業を取っていない人は、「英語表現」の授業で死刑に対する意見を述べる

エッセーを書くために勉強した以外は、語彙を反復して使うような機会がありませんでした。また、大学生の
使った語彙・表現の中には皆さんの知らないものもあり難しかったと思われます。

大学生のディベートで参考になったのは？（自由記述式で多かった感想を挙げました）

- ・話し方に説得力がある（ジャッジや聴衆に訴えかける話し方、発音がきれいではっきりした話し方）
 - ・話の内容が論理的・明確で無駄がない、すべて制限時間内にまとまっている
 - ・話し方に自信・余裕があり、お互いのやりとりを楽しんでいる
 - ・データが豊富で使い方が的確である
 - ・立論・尋問・反駁・サマリーそれぞれが効果的であった
 - ・即答できる英語力、その他全体的にさすが大学生と思わせるレベルの高さであった
- 高校生のディベートで参考になったのは？
- ・データが豊富・表を用意するなど準備が充分されていた
 - ・チーム内の協力と一人一人の積極性
 - ・反論の仕方（説得力がある、的確、豊富、迅速、わかりやすい表現）
 - ・その他、昨年の1年次セミナーと比べてレベルが高い、同じ高校生としてレベルの高さに感心した等

「準備がとても大切」大学生でもかなりの時間を費やして準備をしているのだから、高校生ももっとやらない
といけな、という感想がかなりありました。また、同じスピーチでもパフォーマンスの善し悪しで説得力が
大きく違ってくるので、聴衆を意識した話し方を練習する必要があるという意見も多く聞かれました。

当日は大学生の素晴らしい試合を見ることができとても勉強になりました。

<リスニング特別授業> 12/20 千葉大教授 椎名 紀久子 先生

「映画やニュースが聞ける耳を鍛えよう―速読や語彙学習と組み合わせる」

対象：1,2年国際科

昨年好評だった椎名先生のリスニング学習法についての授業を今年もしていただきました。機器の調整の関係で、椎名先生が
沢山用意してくださった材料の一部しか使えず、先生にも皆さん
にも申し訳なかったと思います。



*英語が聞けるということは

- 音が正確に聞き取れること
- 文字通りの意味が理解できること
- 話者の意図を理解して行動できること

***リスニングが難しいのは** 「速すぎて聞き取れない」 word by word で聞こうとするから

「みんなつながって聞こえる」 英語は一定のリズムで発話される言語だから

「聞いたそばから忘れてしまう」 知らない語彙・表現が多いので良く理解できていないから

***リスニングの練習は映画、ニュース、インタビュー等、自分の好きなジャンルから始めるとよい。**

***リスニング上達のコツ**（当日は映画「Beauty and the Beast」を用いた演習）

音の聞き方 1) 耳に飛び込んでくる表現を探す 2) チャンク単位で聞き取る

意味のとり方 1) 全体を通して聞き、内容をおおまかに推測

2) 全てを聞き取ろうとせず目的を持って聞く (5W1H)

- 3)キーワード, キーフレーズ, キーセンテンスを頭に残してつなげる
 発信できる力までたどりつく 1)内容を理解したらディクテーション 2)英文原稿と照らし合わせて精聴
 3)耳, 口, 手で定着作業(シャドーイング, 復唱, 清書)

皆さん,是非椎名先生のアドバイスを生かしてリスニングの練習をしてみてください。きっと効果があるはず。

<異文化理解特別授業> 1/9 駐日欧州委員会代表部 友田 真理 先生

「異文化理解について — 欧州連合での国際体験を通して」 対象:「比較文化」受講生, 1年国際科

*この授業の紹介も生徒の皆さんのレポート・感想によるものです。



通訳への道と英語学習法

中学2年の時通訳の仕事にあこがれる 大学は英米語科 卒業後
 外資系の会社に2年勤務(通訳) フリーの通訳をしながら専門学
 校で勉強 EUの通訳に応募

*帰国子女でなくても, 留学経験がなくても英語は上達する。

*中学, 高校時代は教科書・副教材をすべて丸暗記, 文法も大事,
 受験英語も大切な基礎なのでおそそかにしてはいけません。

*大学ではスピーチ, ディベート, エッセーライティング, その他

授業は英語で, 英語をシャワーのように受けた。また, 通訳は実力本位の仕事なので仕事をしながらも常に勉強
 している。大学を卒業した後の方がもっと勉強している。

*英語だけでなく日本語も大切。日々言葉に注意を払い, 失敗をおそれずに恥をかきながら学んでいく。

*通訳はコミュニケーション。人と人を結ぶ仕事なので誠意が大事。

*様々な国の文化, 日本の文化について理解を深める事も大事。

文化の違いについて感じる事 ヨーロッパでは:

*女性の社会進出が進んでおり, 男性の家事に対する意識も高い。

*プライベートと仕事が区別されており, あまり私的なことは聞かない。

*言葉で説明することが大切。仕事では激しく議論し, 相手を非難しても, その後仲良くランチを食べに行く。

*何でも用意周到に準備して始める日本とは違い, 見切り発車的に出発したりするが, それだけ柔軟であるとも
 言える。

*様々な人種, 国, 文化背景を持つ人々の集団である。また, 数力国語話せる人も多い。



Félicitations!!



第15回高校生のフランス語コンクール 5位 *会話(寸劇)をビデオに収めたものが審査されます

2B 酒井翔馬・2D 青木菜摘, 小川友理, 玉木雅知子, Caleb Stone

2E 横田亜美・2F 植田千晶, 小林花穂

の皆さん おめでとう!!

♥♥♥♥♥ ♥♥♥♥♥ ♥Farewell Message from Caleb♥♥♥♥♥ ♥♥♥♥♥

NZからの留学生Caleb Stone くんが1月13日に帰国しました。

帰国前に書いてもらったメッセージです(原文をそのまま載せます)

「皆さんケーレブですよ。もう帰りましたよ。私のために学校にがんばってくださいね。Try your hardest at school and never ever give up! ニューゼalandに帰ったら, 3年生になりますね~。学校に日本語を勉強するのであなた達もえいごでがんばってね。BYE BYE」



Notices



<2学年国際科セミナー（ディベート・トーナメント）>

2月26日（月）3クラス18チームが丸1日を使ってトーナメント形式でディベートの試合をします。

今年の論題は 'Japan should abolish the death penalty.'です。決勝戦は1年生にも見てもらおう予定です。